

競争的資金制度改革プロジェクトの今後の進め方（案）

平成14年9月25日

- 1．競争的研究資金の制度改革については、本年4月に科学技術システム改革専門調査会の下に、競争的資金制度改革プロジェクトを設け、4～6月にかけて、5回にわたる会合において、調査・検討を行い、去る6月に「競争的研究資金制度改革について 中間まとめ」を取りまとめた。

当該「中間まとめ」を踏まえ、関係府省との連携を図りつつ、平成15年度概算要求に際して、競争的研究資金制度の具体的な改革に取り組んできているところである。

競争的資金制度改革プロジェクトとしては、このような各府省の取り組みをフォローするとともに、「中間まとめ」において、更に検討を行うべきとの指摘のあった課題について、具体的な調査・検討を行う。

- 2．検討課題（例）

大学間・研究者間の競争を促進し、大学等を活性化するとの観点から、大学改革とも調整を図りつつ、諸外国の比較等を踏まえ、検

討を行う。

- 研究者本人の人件費の直接経費からの充当
 - 能力主義を徹底し、競争的な環境を形成する観点から、大学等の研究者の給与制度の在り方を含め検討する。
- 競争的研究資金と基盤的経費（大学において学生数や研究者数を基礎として配分される経費）の在り方
 - 競争的研究資金の拡充が図られる中で、基盤的経費も含め、大学等の研究費の在り方を検討する。
- 競争的研究資金とポストドクター制度の在り方
 - 現在の特殊法人によるポストドクター制度は、制度上、その派遣先が競争的研究資金の研究費の配分先と一致していないとの指摘があり、競争的研究資金の拡充に合致したポストドクター制度の在り方を検討する。
- プログラムオフィサー及びプログラムディレクターの制度・役割の明確化
 - 各府省(制度)において、プログラムオフィサー、プログラムディレクターの制度・役割に関する理解を深めるため、プログラムオフィサー、プログラムディレクターの具体像を明確化し、提示する。

等

3．検討スケジュール

10月に検討を開始し、年度内にとりまとめを行うことを目途に、今後集中的に検討を行う。